

西中コミュニティ・スクールだより

— 境西中学校運営協議会から — 第2号 H30.10.23

弁当の日実施 剛志の歌復活

平成30年9月28日に第2回境西中学校運営協議会を開催しました。石原会長から、「夏は暑い暑いと言っておりましたが、ここにきて急に温度が下がり雨も多くなりました。体育祭も無事終わり、今回は第2回目の運営協議会ということですがよろしくお願いします。」とのあいさつをいただきました。

◎部会別協議内容

○地域課題検討部会（部会長：石原会長）



上毛新聞 7/3

○学校課題検討部会（部会長：萩原副会長）

○剛志の歌について

- ・剛志小学校では御嶽山の蛍祭りや運動会で、

「剛志の歌」をマーチングで発表した。また、給食の時間に校内放送で流しているので、全校児童が覚えてきている。一部歌詞が違うところがある。（歌詞4番 このふるさとを 護ろうよ と 護らまし どちらであるかご存じの方は情報をお寄せ下さい）

- ・中学校の文化祭でPTA役員と職員が「剛志の歌」を歌うので、剛志小の児童とコラボができれば素晴らしい。

- ・地域の行政を知ってもらうため、区長会で生徒達に話をする。区長会と学校で実施したい。
- ・民生委員と協力し、各行政区ごとに月1回月曜日の放課後に会議所に集まり話をする。
- ・生徒の余暇時間にやりたいと思っていることを知り、地域の大人が趣味等を活用し交流したりする機会を設けたい。そのために、生徒のニーズを知るためのアンケートを行う。
- ・以上のことをひとつでも、進められたら思う。



○「弁当の日」について

- ・「弁当の日」を、2回実施した。
(1学期終業式と体育祭)
- ・アンケートではメニューを自分で決めた(57%)と自主性もみられた。また、自分ひとりで作った(36%)、家族と一緒に作った(22%)、家族に教わりながら作った(36%)を合わせると90%を越える数字が出ており、積極的に取り組むことができている。



家族との絆が深められる父娘の会話もできた。料理は苦手だけど、自分で調理をするのは楽しく感じた。いつもやっている母親や祖母の大変さも分かった。いつもは自分で作らない弁当を自分で作りとても難しいことに気付いた。親はいつもこんなに難しいものを作っているのだと知ったのでこれからは感謝しながら食べたい。また、作るのが大変だった。もっと回数を少なくして欲しい等の回答もあったが、生徒の素直な率直な意見が伺われ、大変良いと感じた。

- ・「弁当の日」(終業式)は全校で食べたが、食堂はエアコンがなく暑かった。エアコンを入れてもらえるよう地域からも声を上げたい。食堂は災害時や地域の行事でも利用できる場所であり、今後も活用可能な重要なスペースである。
- ・11月30日は、「弁当の日」提唱者竹下和男先生の講演会も既に決定している。多く人に聴いて欲しい。(14時30分体育館です。地域みなさんもぜひ参加して下さい)

○部活動について

- ・3年生の保護者からは、活動時間の短縮には反対の意見も多かったため、夏休みの1・2年生が主体になってから、市のガイドラインに基づく活動をしている。
- ・もっとやりたいという教諭も多いが、仕事の軽減からも適正化の意味があり、今後は地域の指導者の協力を得る等の方向になるのいいのではないかな。

○道徳について

- ・教科となり教科書もあるので、今までの教材が使えなくなり教諭にとって大変になってくるのではないかな。
- ・地域の方が道徳の時間にかかわり、話をする等していただくのもひとつの考え方ではないかな。

◎給食試食会から

運営協議会委員で給食試食会をしました。
懐かしい給食をおいしくいただきました。



給食試食会